



# さがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会ニュース VOL.2

発行者：文京区立さがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会

事務局 文京区福祉部保育課保育係：東京都文京区春日1丁目16番21号

電話 03-5803-1189 Eメールアドレス b303700@city.bunkyo.lg.jp 2005・7・発行

2004年12月に健康対策手帳が発行され2005年3月9日手帳発行後初の専門委員会が開催されました。そこで今後ニュースを通じて手帳をはじめとしたさまざまな皆さんのご質問に答えていく場を作ることが提案され今回のニュース発行につながりました。

## 特集アスベスト健康対策についてココが知りたいQ&A

毎月リスク相談や心理相談で出た質問や専門委員会が出た質問・回答をまとめシリーズでお伝えします

**Q** アスベスト健康管理手帳をもらうべきかどうか悩んでいます。手帳を持つこととのメリットとはなんでしょうか？

今後手帳を受けとりたいとお考えの方は事務局の文京区保育課までご連絡ください。  
電話 03-5803-1189  
Eメールアドレス b303700@city.bunkyo.lg.jp  
リスク相談の場で直接受け取る事もできます。

**A** 手帳は検討委員会で内容を十分精査したものです。ぜひ持っておいいただきたいです。手帳の意義は次の3つがあります。

1. 起きてしまった事実を客観的に伝えるための材料として  
人の記憶はあいまいになりがちです。ご本人が成長し保護者から自立していく過程で、今回のばく露の事実を知ることになった場合、風評ではなく、客観的に事実を知る根拠になります。

2. 医療機関に対する客観的根拠として  
将来、何らかの理由で医療機関に説明する必要がでてきた場合や万が一の発症の場合も、手帳が客観的な根拠となります。

3. 健康管理への意識を高めるツールとして  
このような手帳を持つことによって日常にいい意味で緊張が生まれ、類似の事態の再発防止や疾病の予防にもつながります。

**Q** 文京区から大きなバインダーをもらいました。クリアファイルになっていますがこの後何が送られてくるのでしょうか？

**A** 専門委員会からのニュースという形で最新情報が送られますのでファイリングしておいてください。

それ以外にもこの問題に関わる新聞や雑誌などの切り抜きをスクラップしファイリングしておく事でどの様な人やメディアが関心を持っているのかという事を把握できます。

**Q** たばこが肺がん発症のリスクを高めると言われていますが、今回の事態の責任を負うべき文京区(またはそれに代わって専門委員会)が対象児に対して禁煙教育をすることは、考えていらっしゃるのでしょうか？

**A** 禁煙教育の必要はあります。  
タバコに興味をもつ年齢が早い子供では小学校5年生ぐらいと若年齢化の傾向にあります。禁煙教育のセミナーを開くなどして今回のばく露に遭ってしまった人たちのハイリスクを伝える必要があります。現在は専門委員会の懸案事項です。今後のリスクを減らすために禁煙教育は大きなテーマと考えています。

**Q** いつ、どのように子供に事実を伝えようかと迷っています。アドバイスをお願いします。

**A** このような事実を受け止める年齢には個人差があると思います。めやすとしては、ちょっと難しい物語にも興味が出てきて目の前にない事についても考えられるようになった時期。これまでは9歳から10歳ぐらいの間にその様な時期が来るとされていましたが最近では中学生になっても考えられない子供もかなり増えています。保護者の方からはうまく説明できないというような場合に専門委員会の方でも対応する準備はしていく予定ですが、迷ったり悩む事があれば心理相談に気がねなくいらしてください。



このQ&A またニュースに対するご意見・ご質問はアスベストセンター(編集部・専門委員永倉)まで是非ご連絡ください。皆さんの必要とする情報をお知らせするニュースをめざしています。個人的な質問でも結構です。ニュースへの掲載にあたりましてはご本人了解のもと編集させていただきます

あて先 アスベストセンター TEL:03-5627-6007  
FAX; 03-3683-9766 Mail: info@asbestos-center.jp

# さがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会ニュースVOL.2

現在 10 名の専門委員がいます。ニュースで毎回委員の方々をご紹介します  
医師会でアスベストの講習会を開くなど委員同士でも連携を図っています。

## リスク相談・心理相談をぜひ活用してください。

定期的なリスク相談・心理相談は行われています。最終報告書・健康対策手帳に関する相談は  
もちろんの事、こんな相談も気がねなくして頂いて結構です。

- ・最近、子供の体調がすぐれないのだが...
- ・子供がたばこに興味を持ち始めたようで心配だ。
- ・子供の通う小学校や近所で工事があるので心配だ。
- ・子供にアスベストばく露のことをどのように伝えたらよいかわからない。 etc.

リスク相談に入るのか、心理相談に入るのかわからないときは、質問内容を申込用紙に書いて  
送っていただければこちらで判断いたします。

両方の委員に同じ質問をしていただいてもかまいません。

グループで相談したい方も歓迎しています。電話で相談する事もできます。

利用者数は、昨年のスタートから現在までに述べ 30 人ほどになりました。

どうぞ、お気軽にいらしてください。

**リスク相談担当：内山委員、安達委員**      **心理相談担当：前田委員**

**次回相談日は7月23日(土)です。申し込み受付はアスベストセンターになっています**

## 相談窓口の委員紹介

プロフィール

現在取り組んでいるおもな活動・研究

さがやの問題について一言



**専門委員会委員長 内山巖雄**      うちやまいわお

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 環境衛生学講座教授

有害化学物質のリスク評価とリスク管理、リスクコミュニケーションなどを中心に  
研究しています。最近では化学物質の問題は大気汚染から室内空気汚染にまで幅広くな  
ってききましたので、シックハウス症候群やいわゆる化学物質過敏症の調査も行っていま  
す。環境工学の学生は医学関連の学生とはまた違った発想があり日々勉強になります。

すぐ子ども達もたばこを吸う年齢になります。がんは避けられない病気ですが、少なくともア  
スベスト関連のがんが一人もでなければこんなに嬉しいことはありません。



**専門委員会委員長職務代理 安達修一**      あだちしゅういち

相模女子大学食物学科  
公衆衛生学研究室 助教授

吸入物質の発がん性評価  
食生活とがんリスク

長続きするコミュニケーションが  
大切だと感じています。意見を  
寄せやすい環境作りも委員会  
の課題です。



**前田峰子**      まえだみねこ

臨床心理士・  
洗足学園短大幼児教育科講師

就学前の発達障害児を抱える  
家族・保護者・教職員への援  
助・公立中学校スクールカウ  
ンセラーとして中学生・保護者・教  
職員への援助

他にあまり例の無い相談ですの  
で、私にとっても毎回勉強です。